

2023年 年次報告書

一般財団法人 神石高原地域創造チャレンジ基金

(2023年10月発行)



アフターコロナによる経済正常化への期待が高まりつつある今、基金としても事業の資金および事業運営支援は継続実施

神石高原地域創造チャレンジ基金（通称 チャレンジ基金）は、神石高原町地域における産業の振興をはかり、地域のにぎわいを創出することにより、当該地域の事業体の運営を支援し、当該地域が継続的なコミュニティとして発展拡大することに寄与することを目的に、事業資金支援、事業運営支援、その実績を発信することにより、地域のにぎわいの創出にも貢献する活動を2017年より継続して行なっています。

今年も支援先は増え、現在、支援先は10事業。合計9,890万円事業資金支援を行っており、自然豊かな神石高原町ならではの神石牛関連牛舎の拡大や古民家ゲストハウス事業、ジビエペットフード事業、小規模水力発電事業など多岐にわたります。

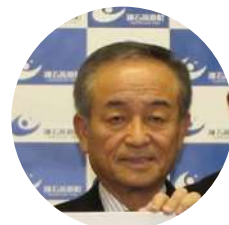
本年次報告書で、支援先事業についてご報告をさせていただきますが、支援先の皆様は、コロナ禍の影響はかなり少なくなりましたが、それら状況を勘案、計画を柔軟に見直しながら、着実に事業を進められておられます。

また基金も設立6年をこえ、おかげさまで支援先数が拡大してきたこともありまして、現在（2023年10月時点）までの支援による効果をいくつかの切り口で今年度もまとめてみましたので、本報告書にて効果を定量的にご共有いたします。今後も継続して見直してまいります。

私たちは、今後も継続して支援先事業者のみなさんとともに、活動を続けてまいります。また、事業遂行の苦労を乗り越えた経験とノウハウは、広く地域創生を目指す全国の仲間たちにも情報を共有し、地域創生のプラットフォームとなるべく尽力してまいります。

引き続き、ご指導ご鞭撻のほどどうかよろしくお願いいたします。

一般財団法人 神石高原地域創造チャレンジ基金
(通称 チャレンジ基金)
代表理事 上山実



支援先事業の状況報告

株式会社ヴィレッジホーム光末：農畜産物の生産販売

【概要】

代表者：光末 幸司

支援決定：2017年1回

資金支援額：2000万円

資金活用：神石牛関連牛舎の拡大

ホームページ：<https://vhm.jp/>



<肥育牛舎内部の様子>

【現況報告】

農畜産物の製造販売を手掛ける中で、人気があるものの数がすくなくなってきた、貴重なブランド牛「神石牛」の繁殖から肥育までの一貫の事業を遂行されることを目的にされ、2019年3月に新築牛舎稼働、12月にも子牛牛舎が完成し稼働開始しました。

現在の飼養頭数は、繁殖素牛59頭・子牛45頭・肥育牛15頭（R5年10月1日現在）と、100頭を超える規模になってきました。

特に肥育素牛に関しては保留・導入基準を儲け①神石血統②雌牛③20～22カ月肥育（月齢30～32カ月）といったこだわり設け、お客様に美味しく召し上がってもらえるよう、大事に飼養管理を行っています。

【代表からのメッセージ】

近年、紛争による飼料価格・燃油価格の高騰により、枝肉価格・子牛価格の下落により経営を圧迫していますが、今できる最善を尽くして神石牛の振興に努めていきます。

支援先事業の状況報告

株式会社フェアトラベルジャパン：古民家活用ゲストハウス運営

【概要】

代表者：高 斗煥（ゴ ドウファン）

支援決定：2018年1回

資金支援額：1,000万円

資金活用：古民家のゲストハウスへの改修

韓国の6か所の自治体首長の神石高原町訪問



<韓国の子どもたちの神石高原町探訪>

【現況報告】

冬の間は休業し、4月から少しずつ日本の方々の宿泊が入っており、8月現状で宿泊客は50名程度までになっております。また、韓国からのお客さんの予約も入っております。6月～8月まで、20名ほどの予約をいただいております。

一方、本業である旅行・研修事業も回復しており、韓国からの研修団受け入れや、韓国の子どもたちの夏休みの教育旅行も含めて、約100名ほどのインバウンド客が神石高原町へ訪問するようにしております。

また運営体制ですが、5月から広島出身の日本人1名が新しく入社することになりました。主には民宿「思惟の森」の管理と弊社が企画中的である町内高齢者向けの代理旅行プロジェクトの企画・実施を担当することになります。

【代表からのメッセージ】

コロナが開けて、旅行ができるようになりとっても嬉しいです。ここまで頑張ることができたのも皆様のおかげです。誠にありがとうございます。広島は平和の地域であり、様々な国から人が訪ねてくる地域です。今後も神石高原町の魅力を世界のより多くの方々に発信したいと思っております。町内の皆様のお力添え賜りますようお願い申し上げます。また、弊社が何かできることがあれば、いつでもご連絡ください！引き続きよろしくお願ひいたします！

支援先事業の状況報告

株式会社ナオリイ神石高原：「浄酎」の製造販売

【概要】

代表者：三宅 紘一郎

支援決定：2018年2回

資金支援額：300万円

資金活用：クラウドファンディング製造販売関連

ホームページ：<https://naorai.co/>



<新しい商品ラインアップ>

【現況報告】

浄酎事業を神石高原町でスタートさせまして3年が経過しました。少しずつ販路を増やすことができ、東京や名古屋、大阪のデパートでの販売会で販売することができました。また海外展開の可能性も大きく広がってきています。made in 神石高原の浄酎をこれからもさらに広げていきたいと思えます。

【代表からのメッセージ】

日本酒を低温で蒸留した香りが日本酒、飲み口がウイスキーのような新しい酒浄酎の認知度はまだまだ低いですが少しずつ販路を広げることができています。また生産体制もメンバーのおかげで確立できつつあります。これからさらに良いお酒を作りたいと思えます。



<神石蔵での三宅代表> 4

支援先事業の状況報告

株式会社ダストマンズ：動画および動画教育コンテンツの作成

【概要】

代表者：村上 勇太 支援決定：2019年2回
資金支援額：500万円 資金活用：油木高校クラブ継続支援のためのコンテンツ拡充
ホームページ：
<https://www.youtube.com/channel/UCMyJ5odq13TMrW-sNqC0ZJQ>

【現況報告】

売上としては例年と同様でした。変わったこととしては、昨年度から映像の勉強をしたいと若手が1名増え、今後戦力として活躍してくれるのではないかと期待しています。別会社でやっているAR事業も軌道にのりはじめたので今年度は売上アップを目指していこうと思います。

【代表からのメッセージ】

昨年度は新たな取り組みとして、油木高校の卒業生を1名起用した神石高原町のプロモーション映像を制作しました。

楽しく田舎の良さを伝えられる映像になったんじゃないかと思っています。

コロナの影響も薄まり、大人数での制作もできるようになったので今年度はさらによりものを作っていきます。



支援先事業の状況報告

株式会社ヤマテツRising：水回り関連インフラ・井戸掘削工事

【概要】

代表者：山本 哲也

支援決定：2019年1回

資金支援額：1,000万円

資金活用：事業スタート関連費用



<宣伝パンフと水回り施工事例>

【現況報告】

創業より4回目の決算を迎えようとしています。当初想定していなかった、新型コロナ感染症や物価高騰の影響は大きく、2022年と比較すると、資材の入荷はほぼ普通に回復したものの、現在は資材が高騰し企業努力だけでは納まりきらないのが現状です。

2023年9月より5年目のスタートとなりますが、次の5年間を見据えて計画的に準備できる物は準備し起動力を確保する事と現代のニーズに合わせた技術力の向上を目標に事業を進めていく方針です。

【代表からのメッセージ】

お陰様で、ヤマテツライジングも5年目を迎えます。私たちは、地域の皆様の日々の生活での困りごとを解決し快適に過ごして頂けるように、今後もお客様の目線に立った仕事を心がけてまいります。引き続き神石高原町が安心して生活できる町である為に、頑張りたいと思います。

支援先事業の状況報告

株式会社DroneScenery : ドローンスクールの運営

【概要】

代表者：宮池研吉 支援決定：2019年2回
資金支援額：240万円 資金活用：ドローンスクール開業関連
ホームページ：<https://www.dronescenery.co.jp/>



<ドローン実証実験の状況>



【現況報告】

昨年末に国家資格ができ、民間資格から国家資格への需要の転換が起きております。一方でまだ国家資格への対応ができていないことへの出遅れており、予定であれば既に開校済ですが、諸般の事情によりまして現状開校の準備中です。現在国家資格取得の登録講習機関登録申請中ですので、この機を逃さず、国家資格対応スクールへの転換を実現させます。一刻も早い立てスタートに尽力致します。

【代表からのメッセージ】

国家資格への需要がこれほど高まるとは思っておりませんでした。一刻も早く登録講習機関登録をし、需要を取り戻したいと考えております。それと同時に、町で行っている事業への協力を行っていきます。今年は学生を対象とした次世代育成事業としてドローン体験会を行ったり、鳥獣害対策へのドローン活用を予定しております。もう一つ、大型ドローン事業も進め、この地域のオンリーワン企業を目指します。

支援先事業の状況報告

株式会社アールティー：よもぎ茶の製造販売

【概要】

代表者：赤木剛志

支援決定：2021年2回

資金支援額：400万円

資金活用：よもぎ茶の製造販売関連

ホームページ：<https://lif-exp.com/detail?sid=3570>



<よもぎ採取の現場>



<よもぎ茶の商品>

【現況報告】

よもぎ茶の製造販売事業を始めて、早3年目に入りました。

今年の6月より、20パック入り商品に加え、お客様がよりお気軽にお買い求めやすいように8パック入り商品を作り、販路拡大展開を行っております。

また、既存の顧客様は今まで通りお取引させていただきたく中で、弊社インスタグラムの投稿頻度を週1回のペースで継続することでフォロワー数も増加し、新規顧客様の獲得へ繋げております。加えて、イベントへの出店やオーガニック飲食店での試飲会の開催など、お客様へ直接アプローチできる活動も行い、BtoCビジネスの強化にも力を入れております。

【代表からのメッセージ】

今春の買取量も十分に確保することができ、例年通り品質の高い「よもぎ茶」をお客様のもとへお届けすることができております。神石高原町内の野山に自生している天然のよもぎのみを使用しておりますので、無農薬・無添加の安心安全なオーガニック「よもぎ茶」ですので、商品には自信があります！

支援先事業の状況報告

神石高原グリーン電力株式会社：小規模水力発電の民間による売電事業

【概要】

代表者：松井 泰二 支援決定：2022年1回

資金支援額：2,700万円 資金活用：小規模水力発電の民間による売電事業



<水力発電用放水部分>

【現況報告】

2022年7月着工し、水力発電電気設備は同年9月には納品され、同年11月には発電所建屋内に据付まで終わりました。発電所建屋までの山道は狭く斜面もきつく、車両や重機が入れるような場所ではなく、山林に架線を張っての機器の搬入となり、途中コロナ禍での人員配置にも難がありと、時間を要した作業もありました。計画では2023年3月から稼働開始の予定でしたが、堰堤の土木工事に遅れが生じましたが、同年5月に堰堤工事が完工し、試運転を開始し、同年8月現在、試運転中です。試運転中ですが、稼働自体は1日24時間稼働させ、発電した電力は中国電力ネットワークへ売電しており、売上は発生しています。試運転中に発電データを取りながら、少しでも最大出力を出せるように導水設備の改良を行っているところで、同年9月に本格稼働になります。

【代表からのメッセージ】

官民一体となって、ようやくですが豊松発電所の再稼働が実現できつつあります。今回が初めて水力発電事業への取組みとなりましたが、多くの経験を得ることができ、また、神石高原町での水力発電への期待と可能性は大きいと実感しております。今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

支援先事業の状況報告

株式会社BINGO：ジビエ肉を活用したペットフード事業

【概要】

代表者：前田 諭志

支援決定：2022年2回

資金支援額：1,500万円

資金活用：ジビエ肉を活用したペットフード事業関連

ホームページ：<https://bingogibier.com/>



<ジビエペットフード商品>

【現況報告】

2018年に福山市で猪などの解体処理施設を開業し、2022年度は年間で780頭の猪を処理しました。2023年度は1200頭を目標にしています。

神石高原町の新しい施設では、猪の搬入数の増加はこれからになります。

2024年度は猪の処理頭数日本一を目指し年間処理頭数1500頭を目標にしているので地域の方々の捕獲サポートをしながら、今までは捨てられていた猪を有効活用していきます。人が食べる美味しい食肉、ワンちゃんが食べるペットフード、動物の革製品に活用していきます。

【代表からのメッセージ】

神石高原町では年間で約1600頭の猪が駆除対象として捕獲されています。

高齢化する狩猟者の平均年齢は約70歳となっており、捕獲者の負担が課題となりました。弊社では高齢狩猟者の捕獲サポートを行いよりスムーズに捕獲→処分を行うことで狩猟捕獲者がより長く続けていただけるようにサポート体制を強化してまいります。

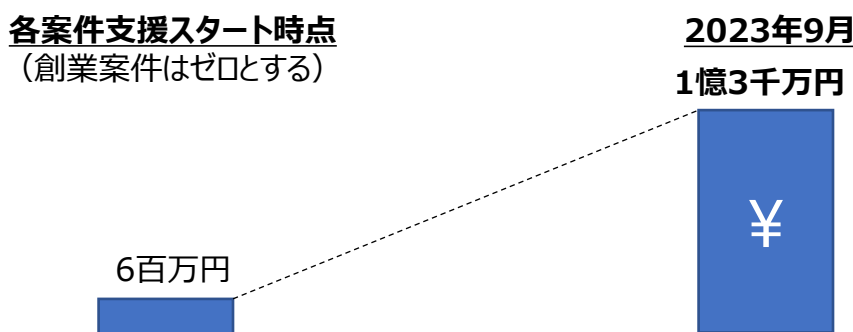
チャレンジ基金の支援の効果について

現在までのチャレンジ基金支援の効果まとめ

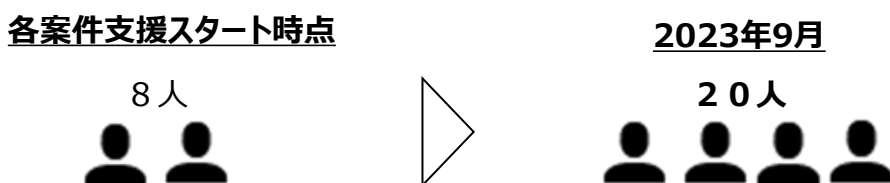
2017年の基金運営の開始からこれまでのおかげさまで多くの支援を実行することができました。そこで支援先のみなさまに対しての一定の支援の効果が計れるタイミングと判断し、昨年度より、支援先合算の数値になりますが、4つの切り口での効果をご公表させていただいております。

【これまでの支援効果（時点2023年9月、2023年度までの投資先10件合計）】

<売上高の拡大（2023年度までの支援先10件合計）>



<雇用の維持と拡大（同上合計。正規雇用、パートアルバイト合計）>



<支援以降、支援先が金融機関の借入や、助成金等をいただいた金額合計>

2億7,824万円

⇒ 基金が一定のリスクを負担する形で、タグボートの支援役割をはたし、多くの金融機関や事業者さまから直接の追加での金融的支援をいただけたものと考えております。

<支援以降、支援先がメディアに掲載された回数の合計>

27回

⇒ 支援先のみなさまがメディアに取り上げていただくことにより、「挑戦のまち」神石高原町の宣伝に大きく役立っているものと考えております。

また、チャレンジ基金の説明会、個別相談会には、23年9月までで**累計66件**ご参加いただき、審査のお申込み自体も、**累計32件**に達しております。神石高原町における、「起業や新規事業の拡大」の機運の醸成には微力ながら役立っているものと考えております。

皆様のご支援、各支援先のご努力、追加支援の輪の拡大の循環で、現在まで上記のような効果が表れてきております。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

チャレンジ基金について

○新しいビジネスチャレンジをサポート



チャレンジ基金は、神石高原町地域における産業の振興をはかり、地域のにぎわいを創出することにより、当該地域の事業者の運営を支援し、当該地域が継続的なコミュニティとして発展拡大に寄与することを目的に2017年設立。神石高原地域で新しいビジネスチャレンジを行う事業者に対して、資金的な資源提供を行うと同時に、伴走型支援と呼ぶ経営指導を一緒に実施していくことで、事業者の経営を安定化させると共に、自律的な運営を促すことで、新規事業者の参入を容易にしていこうを目指しています。少子高齢化と人口減少が進行した神石高原町であるからこそ、次代を担う人材の新しいチャレンジを応援することで新しい事業創造を図り、地域の活性化、にぎわい創出に繋げていく活動を進めます。

【住所】

広島県神石郡神石高原町小畠小畠 1 7 0 1
(神石高原町役場内)

【ホームページ】

<http://jinseki-kikin.jp/>

【公式facebookページ】

<https://www.facebook.com/jinsekikikin>